

次期学長予定者の決定について

本法人が設置・運営する大学（岩手県立大学、同盛岡短期大学部及び同宮古短期大学部）の学長任期が令和5年3月末で満了することに伴い、学長選考会議（議長：石堂淳副学長）において次期学長候補者についての選考が行われておりましたが、このほど、現学長の鈴木厚人氏が選考され、次期学長予定者に決定しましたのでお知らせします。

記

1 次期学長予定者の略歴等

- | | | |
|-------|---|--|
| ◆ 氏名 | 鈴木 厚人（すずき あつと） |  |
| ◆ 年齢 | 76歳（昭和21年10月3日生まれ） | |
| ◆ 出身地 | 新潟県 | |
| ◆ 略歴等 | | |
| | 昭和40年 3月 新潟県立新潟高等学校卒業 | |
| | 昭和44年 3月 新潟大学理学部物理学科卒業 | |
| | 昭和46年 3月 東北大学大学院理学研究科修士課程修了 | |
| | 昭和49年 3月 東北大学大学院理学研究科博士課程修了 | |
| | 昭和49年 4月 日本学術振興会奨励研究員 | |
| | 昭和49年 11月 高エネルギー物理学研究所（現高エネルギー加速器研究機構）
物理研究系助手 | |
| | 昭和57年 5月 東京大学理学部物理学科助手 | |
| | 昭和63年 2月 高エネルギー物理学研究所物理研究系助教授 | |
| | 平成 5年 8月 東北大学理学部・大学院理学研究科教授 | |
| | 平成10年 4月 東北大学ニュートリノ科学研究センター長兼任（～平成18年3月） | |
| | 平成14年 4月 東北大学大学院理学研究科長・理学部長（併任）（～平成17年3月） | |
| | 平成14年 11月 東北大学総長補佐兼任（～平成17年3月） | |
| | 平成17年 4月 東北大学副学長（～平成18年3月） | |
| | 平成18年 3月 東北大学名誉教授 | |
| | 平成18年 4月 高エネルギー加速器研究機構長（～平成27年3月） | |
| | 平成27年 3月 高エネルギー加速器研究機構名誉教授 | |
| | 平成27年 4月 岩手県立大学学長（現在に至る） | |
| ◆ 学位等 | 理学博士（東北大学）（専門分野：素粒子物理学） | |

2 受賞歴

昭和 63 年 1 月	朝日賞（「超新星 SN1987A からのニュートリノ観測」、カミオカンデ・グループ受賞）
平成元年 1 月	米国天文学会ロッシー賞（「超新星 SN1987A からのニュートリノ・バーストの検出」）
平成 11 年 1 月	朝日賞（「ニュートリノ質量の発見」、スーパーカミオカンデ・グループ受賞）
平成 15 年 10 月	仁科記念賞（「原子炉反電子ニュートリノの消滅の観測」）
平成 17 年 11 月	紫綬褒章（「素粒子物理学における貢献」）
平成 18 年 6 月	日本学士院賞（「反ニュートリノ科学の研究」）
平成 19 年 1 月	ブルーノ・ポンテコルボ賞（「反電子ニュートリノ振動の発見と地球反ニュートリノの初検出」）
平成 24 年 1 月	ロシア科学アカデミー外国人会員
平成 27 年 11 月	2016 年基礎物理学ブレークスルー賞（「ニュートリノ振動の発見と研究」、カムランド・グループ受賞）
令和 3 年 11 月	文化功労者顕彰（「素粒子物理学の発展に貢献」）

3 次期学長の任期

令和 5 年（2023 年）4 月 1 日から令和 9 年（2027 年）3 月 31 日までの 4 年

4 選考理由

学長選考会議が規定した「学長選考基準」①学長に相応しい資質、②大学運営に対するビジョン、③大学運営に対するリーダーシップと運営能力、④地域貢献への理解や意欲、に照らし、履歴書及び所信書による書類審査並びに面接における学長候補者からの説明や質問に対する応答を総合的に審査した結果、「学長選考基準」に明示された資質と能力を十分に備えていることが確認されたため、全会一致で 鈴木 厚人 氏を次期学長候補者として選考した。

5 選考経過等

6 月 1 日	第 1 回選考会議	学長選考の開始及び学長選考基準を決定
8 月 23 日	第 2 回選考会議	学長候補者の推薦受付結果の報告
9 月 29 日	第 3 回選考会議	書類審査及び面接方法の決定
10 月 21 日	第 4 回選考会議	書類審査
10 月 31 日	第 5 回選考会議	面接、次期学長候補者として選考
11 月 1 日	理事長が鈴木厚人氏を次期学長予定者に決定	

【本件に関する問い合わせ先】 事務局総務室 事務局次長兼総務室長 新沼 司
TEL019-694-2000(代) FAX019-694-2001